

## 第5回法科大学院（法曹養成制度）の評価に関する研究会 議事録

- 1 日時 : 平成22年11月2日(火) 14:00～16:25
- 2 場所 : 総務省601会議室(中央合同庁舎第2号館6階)
- 3 出席者: (構成員)谷藤悦史座長、郷原信郎座長代理、江川紹子委員、櫻井敬子委員、  
三上徹委員、山田昌弘委員  
(総務省)内山総務大臣政務官  
田中行政評価局長、新井官房審議官、讃岐総務課長、松本評価監視官、城代政策評価審議室長、細川調査官  
(オブザーバー)階前総務大臣政務官
- 4 議題 : 関係者ヒアリング(法科大学院在學生、新司法試験合格者等)
- 5 議事

【谷藤座長】 定刻になりましたので、開催します。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。ただいまより第5回目の法科大学院（法曹養成制度）の評価に関する研究会を開催したいと思います。

本日は、この研究会の担当政務官でございます内山総務大臣政務官にご出席いただいております。開会に当たりまして、内山政務官からごあいさつをいただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【内山総務大臣政務官】 皆様、こんにちは。このたび階政務官から引き継ぐことになりました、本研究会を主宰いたします内山晃でございます。どうかよろしく願いいたします。

これまで4回開催されたということを知っておりまして、法務省や文部科学省からのヒアリングと新たな法曹養成制度をめぐる諸問題の検討などを行ってこられたと承知しております。私も、これまでの検討状況を踏まえて研究会を運営し、十分な研究成果が得られますことに尽力してまいりたいと思っております。

委員の皆様におかれましては、引き続き活発なご意見、忌憚のないご意見をいただきまますようお願いを申し上げてあいさついたします。どうかよろしく願いします。(拍手)

【谷藤座長】 どうもありがとうございます。

本日はまた、この研究会をこれまで担当なさっておられました階前総務大臣政務官もご出席いただきました。ごあいさつをお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいた

します。

【階前総務大臣政務官】 どうも皆様、こんにちは。私のもとで立ち上げさせていただいたこの会議も、無事、内山政務官に引き継ぐことができ安心しております。ぜひ、たくさん問題があるこの法曹養成制度について、発信力のある皆様からいろいろなご意見を賜ればと思っておりますので、これからも引き続きよろしく申し上げます。ありがとうございました。

【谷藤座長】 ありがとうございました。

本日の第5回目の研究会を開催するに当たりまして、法務省、文部科学省及び日弁連から傍聴の希望が出されております。法務省からは5名の方々、文部科学省からは3名の方々、日弁連から1名の方がヒアリングを傍聴したいという希望が出ております。

本日、ヒアリングを対象としていらっしゃる方々に、こういう方々の傍聴を認めていいかということをお伺いしたところ、差し支えないというお話をいただいております。

ご承知のように、本研究会の傍聴につきましては、議事内容に応じまして、座長の了承を得たものについてこれを認めることとされております。皆様のご意見を踏まえまして決定したいと思います。本日は、法務省、文科省、日弁連の傍聴をお認めいただくことに差し支えございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【谷藤座長】 それでは、合計9名の方の傍聴を認めたいと思います。

(傍聴者入室)

それでは、本日の議題に入りたいと思います。

本日の議題は、これまで関係者ヒアリングを何回か重ねてまいりましたけれども、その続きでございます。本日は法科大学院生、あるいは新司法試験に合格した方々、残念ながら新司法試験には合格しなかった方、合計5人の方々からお話を伺うこととしております。

(ヒアリング対象者5名のヒアリング内容については、本人(匿名希望)の意向により非公表)

【谷藤座長】 階前政務官がこの後、所用で退席されますので、一言お願いいたします。

【階前総務大臣政務官】 今日大変貴重なお話を聞かせていただきました。今、検察

を始め、法曹の質が問われている時代ですので、この会議の役割もますます大きくなるんじゃないかなと思っています。ぜひ最後までこの調子で皆様には頑張ってくださいまして、私も陰ながら衆議院の法務委員会というところで、ここに出された議論などを、先日もちよっところでの議論を踏まえた質問をさせていただきましたが、これからもこの会議の成果を国会でも反映させられるように陰ながら頑張りますので、引き続きどうぞよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。

【谷藤座長】 どうもありがとうございました。

(階前総務大臣政務官退室)

(ヒアリング対象者5名のヒアリング内容については、本人(匿名希望)の意向により非公表)

【谷藤座長】 本日、第5回目の研究会でしたけれども、法科大学院生と新司法試験をトライされた方、それで合格された方、残念ながら合格には至らなくてほかの職についての方々、全部で5名のヒアリングを行いました。これで本日のテーマがすべて終わりとなります。

内山政務官に出席いただきまして、どうもありがとうございました。何かご感想はございますでしょうか。

【内山総務大臣政務官】 途中、政務三役の会議がありましたので失礼させていただきましたけれども、何か大変初めて聞くテーマでございまして、非常に興味を持って、今、聞かせていただきました。これからも委員の皆さんによりよい制度に向けてご議論していただきたい、こんなふうに思います。どうかよろしくお願ひします。ありがとうございました。

【谷藤座長】 どうもありがとうございました。

それでは、最後に次回の研究会の議題と、開催予定日について、事務局からご連絡いただけますか。

【松本評価監視官】 次回は第6回の研究会ということで、来週火曜日2時～4時で予定しております。関係者ヒアリングの第3回目を予定しておりまして、法科大学院で教鞭をとっておられる先生お二方、それから新たな法曹養成制度を経て弁護士になられた方、これは日弁連にご推薦をお願いしておりましてお二方、新たな司法試験に合格されましたけれども国家公務員の道を選ばれた方、計5人の方から2時間かけてヒアリングしたいと

思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それから、年内あと2回開催を予定しております。12月に入りましたならば、これまでのご議論を踏まえて、研究会としてどういう検討結果を取りまとめていくのか、行政評価局が政策評価を行う場合にどのような観点、手法、あり方を考えるべきか、その辺のご議論を深めていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**【谷藤座長】** どうもありがとうございました。

これから3回年内にございます。タイトなスケジュールになっておりますけれども、ご協力をよろしくお願いいたします。

これについて、何かご意見はございますか。ありませんか。それでは、このような形で進めていきたいと思えます。

それでは、以上をもちまして、第5回の研究会を終了いたします。

また、本日の内容につきましては、この後、私と郷原先生で記者会見を行うことになっております。

本日はどうもありがとうございました。